

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 陽だまり作成日: 令和 4 年 2 月 16 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員の確保と育成	利用者の増加を見越した職員の確保が必要であるが、職員の資格取得率が低い為、資格を取得するための支援体制や処遇改善に取り組み、育成の体制を整えることで、職員の確保と全体の質の向上に繋げていく。	資格取得に向けた勉強会の実施やシフトの調整、費用の補助等、支援体制を整え、資格手当に配慮する等、職員が向上心を持って働ける環境整備に取り組んでいく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	現在はコロナ禍の為、書面で報告を行い、質問や意見を集約して議事録を作成することで会議の開催としている。コロナ収束後は、参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、今後の会議の発展に向けて検討し取り組んでいく。	薬剤師や歯科衛生士、元家族、他グループホーム管理者等、参加委員を増員し、薬や口腔ケアについて等、ミニ勉強会を行ったり、地域の困り事の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。